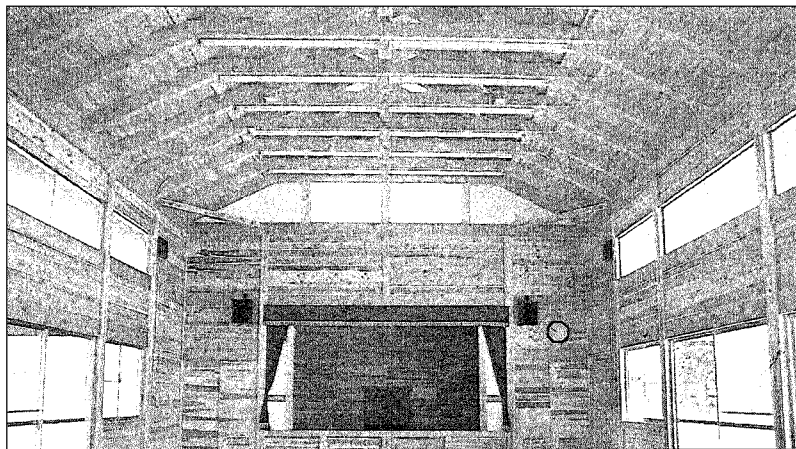


県産材を使った 上大幡公民館完成！

木の良さを再認識し、木造建築の普及を促進することにより県産材の需要拡大を図るため、県産材活用モデル公共施設整備事業を導入し、地域のシンボルとなる施設が完成しました。

この施設は、地域の皆さんがまちづくり、ふるさとづくりのための交流拠点として活用することを目的とした施設で、スポーツ施設としても



使える大ホールと、文化、芸術活動のための和室、会議室、調理室を備えています。
外観は、地域に多く見られる切妻の屋根で、外壁、梁、桁には富士山二合目の一五〇年生の天然カラマツを、内部は杉を多く使い、木のもつ、やさしさ、あたたかさが十分感じられる施設となっています。

使用木材
カラマツ 一二〇立方メートル
杉 四一立方メートル

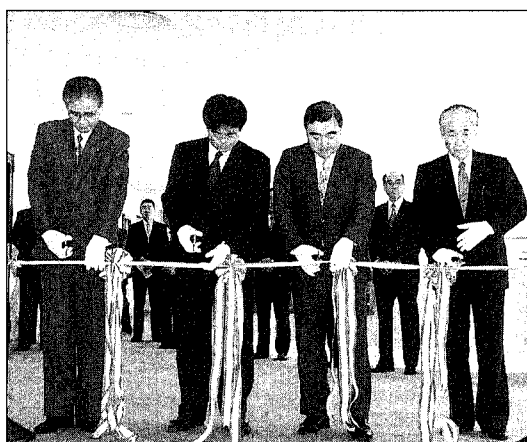
ふるさと会館が一周年

市民の文化交流の場としてオープンした、ふるさと会館が開館一周年を迎えました。これを節目に、今まで皆さんに親しまれてきましたアートホールが増田誠美術館として生まれ変わりました。

七月十二日まで一周年を記念し、『増田誠特別展』を開催しています。

六月十四日のオープニングセレモニーには、画伯の長男の増田毅さんも出席し、市長ほか関係者と共にテープカットを行いました。

毅さんは「父の作品を多くの市民の方々にご覧になって



いただきたい」とおっしゃっておられました。

宝地域コミュニティセンターに

浴場が完成

地域の皆さんに憩いの場所をということで、宝地域コミュニティセンターに浴場を設置しました。

六月二十五日には、都倉市長はじめ関係者出席のもと、オープニングセレモニーが行われました。

今後、計画的に他の地域コミュニティセンターにも設置して行く予定です。

